

E N E O S 海外渡航支援事業報告書 (留学渡航)

2025 年 9 月 2 日

工学部・工学研究科修士課程 (どちらか○で囲む)
所属学科・専攻・回生 工学研究科・建築学専攻 修士 2 回生
氏 名 後藤梨帆

1. 渡航期間 2024 年 9 月 2 日 から 2025 年 8 月 5 日

2. 渡航先 (国・場所・機関等)

フランス パリ・ラ・ヴィレット建築大学

3. 留学で得られた成果 (概要)

建築設計演習の授業では、リハビリテーションやランドスケープなど、

日本では扱わなかった、分野の知識を得ることができた。

特に、ランドスケープの手法から公共空間の設計に取り組んだ演習では、

敷地関係者に話を聞き、敷地周辺の地域のフィールドワークも元に

敷地周辺と地域の課題を特定し、それを解決するような設計を行った。

最初のリサーチの方法も、それを建築でどう解決するのかという議論も、

今後建築設計を考える前段階における思考としてとても有益なものとなった。

私たちのグループは敷地関係者にとっても新たな視点となる街の課題を発見し、

それに基づいた一貫性のある設計提案ができ、評価された。

4. 奨学金の用途

渡航費
